

3. 自律的生産スケジューリング研究会 活動計画(1)

前年度までの活動に引き続き、以下の項目について検討する。

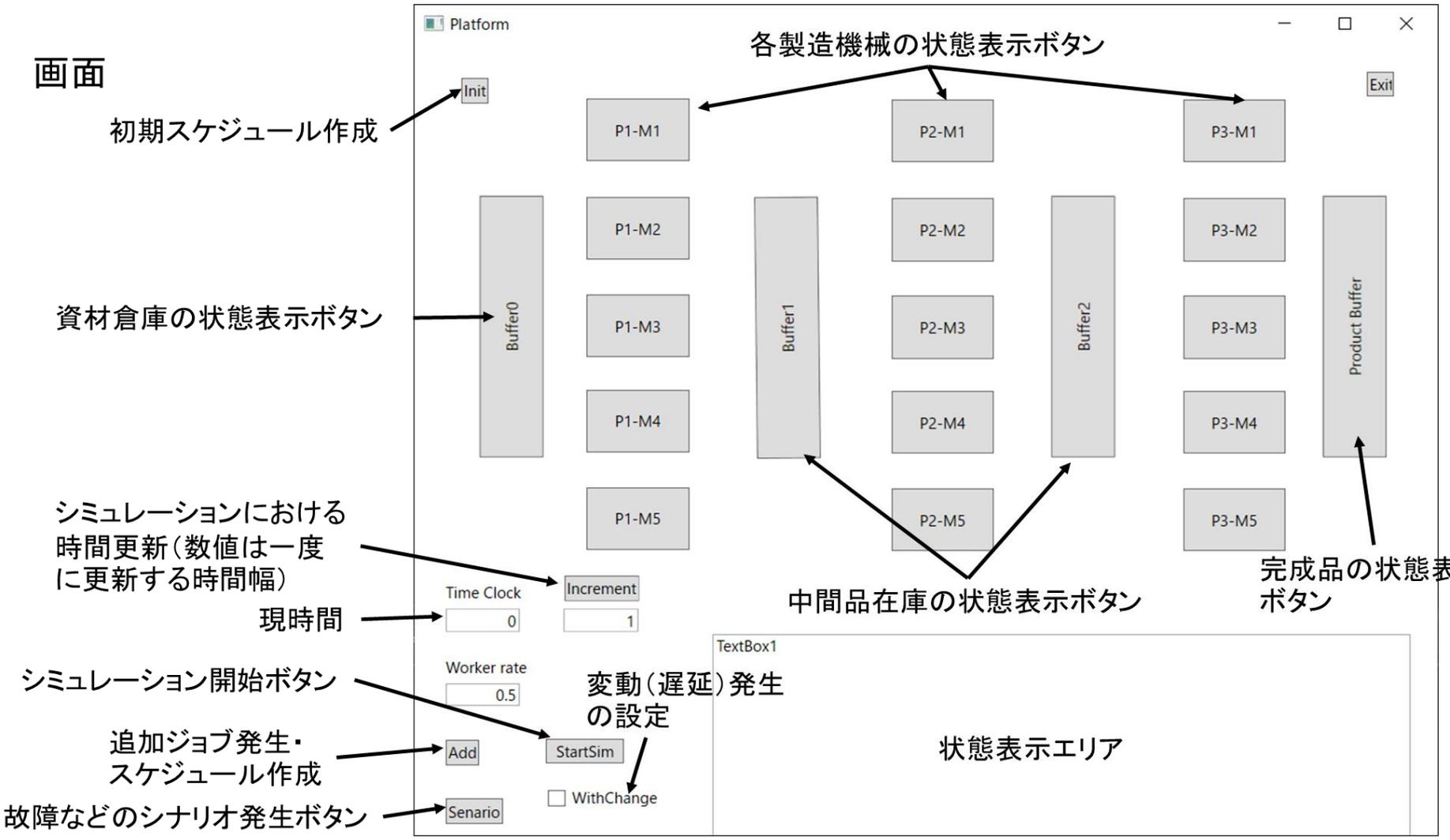
(0) 研究会参加委員のニーズの再確認・共有

(1) 前年度から継続して構築している環境の整備

(2) 構築した環境において、自律的スケジューリングによる影響評価の実施

- ・自律的にスケジュール変更するタイミングの検討
 - ・加工機械における遅延発生時
 - ・加工機械の故障時
- ・スケジュール変更方法の検討
 - ・遅延・故障が発生した機械のみ変更
 - ・影響のある機械も含めて変更
- ・(初期)スケジューリングに用いる最適化手法の検討・導入

3. 自律的生産スケジューリング研究会 活動計画(2)



3. 自律的生産スケジューリング研究会 活動計画(3)

- 活動日程(自律的生産スケジューリング手法の議論)
5月, 7月, 9月, 11月, 1月, 3月(予定)
対面(MSTC会議室)・オンラインを併用したハイブリッド形式にて実施予定
- スケジューリングや数理最適化が専門の研究者やソフトウェアベンダーの技術者などの外部講師を招いたセミナーの開催も検討
- スケジューリング・シンポジウム, 日本機械学会生産システム部門講演会など, 技術的に関連する学術集会に参加し, 更なる知見を得ることも検討している